



平成26年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年10月15日

上場会社名 株式会社アークス 上場取引所 東・札
 コード番号 9948 URL <http://www.arcs-g.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 横山 清
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 古川 公一 TEL (011) 530-1000
 管理部門・コーポレート部門管掌
 四半期報告書提出予定日 平成25年10月15日 配当支払開始予定日 平成25年11月6日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年2月期第2四半期の連結業績（平成25年3月1日～平成25年8月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年2月期第2四半期	228,307	8.7	6,377	△8.3	7,021	△6.1	3,056	△20.4
25年2月期第2四半期	210,090	36.1	6,953	38.0	7,475	38.1	3,839	62.7

(注) 包括利益 26年2月期第2四半期 3,135百万円 (△18.9%) 25年2月期第2四半期 3,867百万円 (72.4%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
26年2月期第2四半期	55	55	—	—
25年2月期第2四半期	74	15	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年2月期第2四半期	180,052		107,757		59.8	
25年2月期	174,443		105,779		60.6	

(参考) 自己資本 26年2月期第2四半期 107,757百万円 25年2月期 105,779百万円

2. 配当の状況

	年間配当金									
	第1四半期末		第2四半期末		第3四半期末		期末		合計	
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭
25年2月期	—	—	19	00	—	—	21	00	40	00
26年2月期	—	—	20	00						
26年2月期(予想)					—	—	20	00	40	00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年2月期の連結業績予想（平成25年3月1日～平成26年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	460,000	6.0	14,100	4.7	15,000	3.4	6,300	△23.7	114	49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P. 3 「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | | |
|----------------------|---|---|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : | 有 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : | 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : | 有 |
| ④ 修正再表示 | : | 無 |

(注) 「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P. 3 「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年2月期2Q	55,591,438株	25年2月期	55,591,438株
② 期末自己株式数	26年2月期2Q	566,022株	25年2月期	565,064株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年2月期2Q	55,025,724株	25年2月期2Q	51,776,904株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー報告書を受領しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3

「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(四半期決算説明会資料の入手方法)

四半期決算説明会資料は平成25年10月17日（木）に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) セグメント情報等	9
4. 補足情報	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成25年3月1日から平成25年8月31日）におけるわが国経済は、政府の経済政策への期待感から円安・株高が進行し、輸出産業を中心に国内景気は緩やかに回復傾向にあるという見方があるものの、欧州金融不安の長期化や新興国の経済成長の鈍化など、依然として、先行き不透明な状況が続いてまいりました。

当社グループの主力事業である食品小売業界におきましても、引き続き不安定な雇用環境、電気料金の値上げや来春に予定されている消費増税などによる家計負担増加への懸念から、消費者の生活防衛意識や節約志向が一段と強まっております。また、同業各社による価格競争や異業種間の競争もますます激化しており、経営環境は引き続き厳しい状況で推移してまいりました。

このような状況のなか、当社グループは、今後の経営環境の変化に対応すべく「創発的破壊で成長を加速し 地域密着を基に 最強の連峰経営を築く」を年度方針として掲げ、市場シェアの更なる拡大と企業価値の向上を目指し、平成25年5月に親会社としての当社の組織変更を実施いたしました。営業部門では、従来の3グループ制から5グループ制へ組織的な拡充を図り、当社グループのスケールメリットを生かした商品調達と情報収集を行うべく活動を開始いたしました。特に、「商品調達グループ」においては平成24年に設置した東京事務所の人員を増強し、グループ一括での仕入れ活動を開始した他、「資材調達グループ」では当社グループ内で使用する包装資材などの一本化など、スケールメリットを追求する施策を進めてまいりました。

また、グループのガバナンス強化のため、総務グループ内の「法務担当」をグループとして独立させるとともに「コンプライアンスグループ」と統合して「法務コンプライアンスグループ」とした他、当社グループ内の委員会及びプロジェクトの見直しを進め、当社グループ内の課題解決に向け体制面での整備・拡充を図ってまいりました。

営業面におきましては、多様化するお客様ニーズと競争環境に対応するため、北海道札幌市内で㈱ラルズが運営する「ビッグハウス」2店舗を「スーパーアークス」へ変更し、幅広い世帯を意識した品揃えや、出来立て・簡便商品の充実を図りました。

新規出店は、平成25年4月に北海道内で3店舗目となる「カインズホームFC星置店」（運営会社㈱エルディ）を、岩手県に「ジョイス盛岡西バイパス店」（運営会社㈱ジョイス）をそれぞれ開店いたしました。さらに同年7月には青森県に「ユニバース青柳店」（運営会社㈱ユニバース）を開店した他、改装4店舗、閉鎖2店舗を実施した結果、当第2四半期連結会計期間末の当社グループの総店舗数は292店舗となりました。

また、アークスRARAカードにつきましては、平成25年8月から東北地区へ導入を開始し、平成25年11月上旬の展開完了を目指しております。㈱ユニバース、㈱ジョイスにおいて、クレジット機能、プライベート機能を搭載したグループ統一カードを導入することによりお客様の利便性が向上する他、今後はグループ各社の販売データの共有、分析、活用などの取り組みを進めてまいります。

以上の取り組みに加え、平成24年9月1日に子会社となった㈱ジョイスの業績貢献などもあり、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高2,283億7百万円（対前年同期比8.7%増）となりましたが、前年同期と比較し、店舗競争力強化のための新規出店及び既存店の改装投資を積極的に進めた結果、営業利益63億77百万円（対前年同期比8.3%減）、経常利益70億21百万円（対前年同期比6.1%減）となりました。

四半期純利益につきましては、当社子会社である㈱ラルズが、公正取引委員会より独占禁止法に違反する行為を行っていたとして排除措置命令及び課徴金納付命令を受けたことによる課徴金納付額12億87百万円を特別損失に計上したことにより、30億56百万円（対前年同期比20.4%減）となりました。なお、平成25年7月16日に両命令について、公正取引委員会に対し、独占禁止法第49条第6項及び同法第50条第4項の規定に基づき審判を請求することを決定し、同年7月25日付けで審判請求をいたしました。

また、当社グループの経営効率の向上を図ることを目的として、平成25年12月1日付で当社子会社である㈱エルディと㈱ライフポートを合併することにいたしました。詳細は平成25年9月12日に公表いたしました「連結子会社間の合併に関するお知らせ」をご参照ください。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して56億8百万円増加し、1,800億52百万円となりました。この主な要因は、現金及び預金の増加額71億77百万円、未収入金の減少額12億90百万円などによるものです。

負債は、前連結会計年度末と比較して36億30百万円増加し、722億94百万円となりました。この主な要因は、買掛金の増加額58億20百万円がある一方、短期並びに長期借入金が26億87百万円減少したことなどによるものです。

また、純資産は、前連結会計年度末と比較して19億78百万円増加し、1,077億57百万円となりました。この主な要因は、利益剰余金の増加額19億1百万円などによるものです。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は、前連結会計年度末より0.8ポイント減少し59.8%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末と比較して71億47百万円増加し261億36百万円（対前年同期末比では48億56百万円の増加）となりました。当第2四半期連結累計期間における連結キャッシュ・フローの各々の状況とそれらの主な要因は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益56億52百万円、減価償却費25億2百万円、仕入債務の増加額58億20百万円、及び法人税等の支払額30億60百万円などにより、131億18百万円の収入（対前年同期比では18億38百万円の収入増加）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、新規出店や店舗改装等に伴う有形固定資産の取得による支出16億22百万円、差入保証金の回収による収入4億75百万円、及び預り保証金の返還による支出5億67百万円などにより、19億2百万円の支出（対前年同期比では6億5百万円の支出増加）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の純減少額21億30百万円、長期借入金の返済による支出12億57百万円、及び配当金の支払額11億55百万円などにより、40億67百万円の支出（対前年同期比では7億30百万円の支出の減少）となりました。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期の業績は概ね想定していた範囲内で推移しているため、平成25年6月11日に公表いたしました通期の業績予想からの変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（有形固定資産の減価償却方法の変更）

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成25年3月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更による損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,261	28,439
受取手形及び売掛金	1,922	2,292
たな卸資産	12,390	12,503
未収入金	4,143	2,853
繰延税金資産	1,597	1,582
その他	1,459	1,591
貸倒引当金	△8	△8
流動資産合計	42,766	49,254
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	40,277	39,360
土地	60,614	60,800
リース資産（純額）	1,583	2,021
その他（純額）	3,284	3,220
有形固定資産合計	105,759	105,403
無形固定資産		
のれん	904	623
ソフトウェア	808	784
その他	341	322
無形固定資産合計	2,054	1,730
投資その他の資産		
投資有価証券	2,787	3,017
敷金及び保証金	15,380	15,033
繰延税金資産	4,159	4,112
その他	1,907	1,872
貸倒引当金	△371	△371
投資その他の資産合計	23,862	23,663
固定資産合計	131,677	130,797
資産合計	174,443	180,052

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	23,790	29,611
短期借入金	10,261	7,684
リース債務	333	388
未払金	4,933	5,056
未払費用	2,278	2,609
未払法人税等	3,500	2,742
未払消費税等	619	720
賞与引当金	1,990	2,322
ポイント引当金	515	592
その他	1,630	1,913
流動負債合計	49,853	53,643
固定負債		
長期借入金	4,204	4,094
リース債務	1,382	1,806
退職給付引当金	3,217	3,235
長期預り保証金	6,431	5,986
資産除去債務	2,161	2,207
その他	1,412	1,320
固定負債合計	18,810	18,651
負債合計	68,664	72,294
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,000	20,000
資本剰余金	20,683	20,683
利益剰余金	65,595	67,496
自己株式	△639	△641
株主資本合計	105,638	107,537
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	141	220
その他の包括利益累計額合計	141	220
純資産合計	105,779	107,757
負債純資産合計	174,443	180,052

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日)
売上高	210,090	228,307
売上原価	161,018	174,416
売上総利益	49,072	53,891
販売費及び一般管理費		
宣伝装飾費	2,448	2,817
店舗賃借料	3,134	3,489
ポイント引当金繰入額	1,972	1,954
給料及び手当	15,662	18,132
賞与引当金繰入額	2,309	2,464
退職給付費用	453	529
水道光熱費	3,218	3,729
租税公課	857	950
減価償却費	2,181	2,502
その他	9,880	10,942
販売費及び一般管理費合計	42,118	47,513
営業利益	6,953	6,377
営業外収益		
受取利息	40	45
受取配当金	38	51
業務受託料	228	226
その他	324	450
営業外収益合計	631	773
営業外費用		
支払利息	62	100
その他	45	29
営業外費用合計	108	129
経常利益	7,475	7,021
特別利益		
受取補償金	24	—
その他	2	1
特別利益合計	26	1
特別損失		
固定資産除売却損	69	20
投資有価証券評価損	184	—
店舗閉鎖損失	7	34
課徴金	—	1,287
その他	43	28
特別損失合計	304	1,370
税金等調整前四半期純利益	7,198	5,652
法人税等	3,358	2,595
少数株主損益調整前四半期純利益	3,839	3,056
四半期純利益	3,839	3,056

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,839	3,056
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	28	78
その他の包括利益合計	28	78
四半期包括利益	3,867	3,135
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,867	3,135
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	7,198	5,652
減価償却費	2,181	2,502
のれん償却額	296	281
受取利息及び受取配当金	△78	△96
支払利息	62	100
課徴金	—	1,287
賞与引当金の増減額 (△は減少)	227	331
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	169	77
売上債権の増減額 (△は増加)	△212	△369
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△15	△113
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,840	5,820
その他	2,542	2,013
小計	14,211	17,488
利息及び配当金の受取額	63	67
利息の支払額	△49	△90
課徴金の支払額	—	△1,287
法人税等の支払額	△2,945	△3,060
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,279	13,118
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△995	△1,622
差入保証金の差入による支出	△117	△98
差入保証金の回収による収入	459	475
預り保証金の返還による支出	△403	△567
預り保証金の受入による収入	62	48
その他	△302	△138
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,297	△1,902
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,110	△2,130
長期借入れによる収入	—	700
長期借入金の返済による支出	△2,577	△1,257
自己株式の取得による支出	△2	△1
配当金の支払額	△981	△1,155
その他	△127	△223
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,798	△4,067
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	5,183	7,147
現金及び現金同等物の期首残高	16,096	18,989
現金及び現金同等物の四半期末残高	21,280	26,136

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年3月1日至平成24年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント	その他(注)	合計
	小売事業		
売上高			
外部顧客への売上高	209,465	624	210,090
セグメント間の内部売上高又は振替高	375	750	1,126
計	209,840	1,375	211,216
セグメント利益	7,803	133	7,936

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、観光事業、ビルメンテナンス事業及び保険代理業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益の金額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	7,803
「その他」の区分の利益	133
のれん償却額	△296
全社費用等(注)	△164
四半期連結損益計算書の経常利益	7,475

(注) 全社費用等は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年3月1日至平成25年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント	その他(注)	合計
	小売事業		
売上高			
外部顧客への売上高	227,716	591	228,307
セグメント間の内部売上高又は振替高	363	962	1,325
計	228,079	1,553	229,633
セグメント利益	7,308	122	7,431

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、観光事業、ビルメンテナンス事業及び保険代理業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益の金額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	7,308
「その他」の区分の利益	122
のれんの償却額	△281
全社費用等(注)	△129
四半期連結損益計算書の経常利益	7,021

(注) 全社費用等は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

4. 補足情報

販売実績

当第2四半期連結累計期間

セグメントの名称	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)		前年同四半 期比(%)	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)		
小売事業	食 品	171,256	81.5	186,621	81.7	109.0
	衣 料 品	1,728	0.8	1,667	0.7	96.5
	住 居 関 連	10,842	5.2	11,960	5.2	110.3
	テ ナ ント	7,043	3.3	7,232	3.2	102.7
	酒 類 等	15,602	7.4	17,183	7.5	110.1
	D P E	134	0.1	122	0.1	90.9
	医 薬 品	802	0.4	779	0.4	97.1
	不動産賃貸収入等	2,055	1.0	2,148	0.9	104.5
	計	209,465	99.7	227,716	99.7	108.7
その他	観 光 事 業	171	0.1	164	0.1	96.3
	そ の 他 の 事 業	453	0.2	427	0.2	94.1
	計	624	0.3	591	0.3	94.7
合 計	210,090	100.0	228,307	100.0	108.7	

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。